

作成日：2010/05/13
最新改定日：2023/04/25

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：PW-100プライマーフィラー

製品番号 (SDS NO)：SDS00119-8

製品種類：水性エポキシ系プライマー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：水性標準プライマー

使用上の制限：推奨用途以外の使用を禁止する

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：AGCポリマー建材株式会社

担当部門：防水材事業部

住所：東京都中央区日本橋人形町1-3-8

電話番号：03-6667-8421

FAX：03-6667-8431

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(呼吸器)

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の健康有害性

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目・鼻・皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす可能性がある。飲み込むと喉を刺激する。また、多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。
極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ポルトランドセメント	90 - 100	65997-15-1	—

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、水または温水でうがいをさせ、医療処置をうける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師の手当て/診断を受ける。

飲み込んだ場合

多量の水を飲ませ、吐かせた後、速やかに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目・鼻・皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす可能性がある。飲み込むと喉を刺激する。また、多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。

応急措置をする者の保護

救助者は適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
適切な換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
このもの自体は不燃物質であり、製品による火災は起こり得ない。ただし、主剤及び硬化剤と混合された混合物は可燃性を有する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
回収が終わるまで十分な換気を行う。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
床面等に付着した場合は、水道水で洗浄し、濃厚な洗浄水が河川等に流出しないように中和処理してから排水を行う。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した粉末は掃除機等で吸い取り回収する。
又は、スコップ・ほうき等で集めて袋などに回収する。
回収物は水で混練りし、モルタル(ブロック状)とし、硬化させ処置する。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
取扱いは換気の良い場所で行い、容器はその都度密栓すること。
取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
休憩所には、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に手・顔等を良く洗う。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
局所排気装置を設け、通気の良い場所で作業する。

(注意事項)

製品を運搬または貯蔵する時は、容器に破損のないことを確認する。
製品を長期に亘って貯蔵し、或いは製品を取り出し混合する等の作業を行う場合は地下浸透や汚染等を防止するため、シート等を敷いて行う。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
容器はその都度密栓する。
屋外または換気の良い場所で取り扱う。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具/呼吸用保護具を着用する。(詳細は第8章「ばく露防止及び保護措置」の保護具の項を参照。)
取扱い場所には、関係者以外の立入を禁止する。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。
休憩、終業時はうがいする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管する。
製品を長期に亘って貯蔵し、或いは製品を取り出し混合する等の作業を行う場合は地下浸透や汚染等を防止するため、シート等を敷いて行う。
長期間の貯蔵には定期的な点検も必要となる。
直射日光や雨水を避け、通風の良い冷暗所に保管する。
屋外に保管する場合は、容器に雨水等の接触がないように防水シートでおおう。
作業担当者以外のものが触れない場所に保管する。

コンクリート床面に直積みしない。

(避けるべき保管条件)

直射日光や雨水を避ける。

(配合禁忌)

指定材料以外と混合してはならない。

安全な容器包装材料

消防法及び国連輸送法規などで規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(ポルトランドセメント)

ACGIH(2010) TWA: 1mg/m³(E,R) (肺機能; 呼吸器症状; 喘息)

ばく露防止

設備対策

排気にはフィルターを用い、直接大気中に粉塵やフライを排出しない設備を使用する。

屋内塗装作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

取扱い場所は給排気が十分取れる設備とすること。

粉塵が積もらないような設備とすること。

洗眼、手洗い、洗顔設備を設ける。

屋内作業の場合は、粉塵濃度が高くならないように排気装置等を備えること。

多量に取扱う場合は集塵機を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

粉塵やフライが直接人体に触れないように適切な保護マスク(防塵マスクなど)を着用する。

手の保護具

粉塵やフライが直接人体に触れないように適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具

粉塵やフライが直接人体に触れないように適切な保護眼鏡(防塵メガネなど)を着用する。

皮膚及び身体の保護具

粉塵やフライが直接人体に触れないように適切な作業衣料などの保護具を着用する。

保護服(長袖作業着)、安全靴

取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粉体

色：灰色

臭い：無臭(セメント臭)

融点/凝固点：知見なし

沸点又は初留点：知見なし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：知見なし

引火点：知見なし

自然発火点：知見なし

分解温度：知見なし

pH：知見なし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数：知見なし

蒸気圧：知見なし

蒸気密度：知見なし

密度及び/又は相対密度：3.0 - 3.3g/cm³ (20°C)

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

常温常圧では安定である。

危険有害反応可能性

知見なし

避けるべき条件

水、湿気を避ける。

混触危険物質

知見なし

危険有害な分解生成物

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目・鼻・皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす可能性がある。飲み込むと喉を刺激する。また、多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目・鼻・皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を引き起こす可能性がある。

長時間付着した状況では、皮膚に炎症を起す可能性がある。

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性

皮膚感受性

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[ACGIH]

(ポルトランドセメント)

A4(2010)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ポルトランドセメント)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2010)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ポルトランドセメント)
呼吸器 (ACGIH 7th, 2010)
誤えん有害性データなし
その他情報
商品として危険有害性評価を行っていません。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性データなし

水溶解度

(ポルトランドセメント)

反応する (ICSC, 2001)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

その他情報

※漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

接触水はアルカリ性(pH 12~13)を呈するから、環境に影響を及ぼさないように注意する。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄する際は、関連法規及び地方自治体の規則に従うこと。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理を行なう。

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法などの関連諸法令に基づき処理した後に行う。

産業廃棄物として、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理をする。

汚染容器及び包装

環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

特別の安全対策

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運搬方法に従うこと。

海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送: 航空法の定めるところに従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

「取扱いおよび保管上の注意」の項の記載に従うこと。

直射日光、雨に暴露されないように運搬する。

水濡れ、包装破れに注意。

消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ポルトランドセメント(別表第9の545の2)

名称通知危険/有害物

ポルトランドセメント(別表第9の545の2)

化学物質排出把握管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)に該当しない。

化学物質排出把握管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

原材料/製品メーカーSDS

国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版

社団法人日本塗料工業会「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]改訂第4版」

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) <http://www.nite.go.jp/>

責任の限定について

すべての化学品には未知の有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。